



広島原爆



長崎原爆



東京大空襲

令和7年度

くになち 原爆・東京大空襲体験 伝承者講話

参加費無料
事前申込制

国立市内在住の広島・長崎の原爆体験者と東京大空襲の体験者から受け継いだ戦争の体験と平和への思いを、国立市から委嘱された伝承者が心を込めて語ります。

戦争の体験・平和への思いを受け継ぐ 21 人の伝承者たち

伝承者講話の様子



主催：国立市

▶ 講話の開催日時等の詳細は裏面をご確認ください。

聴ける講話は、この方たちの戦争体験と平和への思い。

※くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話は、**体験者本人ではなく、体験者の体験と想いを語り継ぐ「伝承者」による講話**です。



ひらただみち
平田忠道さんの体験
1930年（昭和5年）生／2019年逝去

1945年4月、東京都麻布から父親が転勤していた広島へ、母親と妹、2人の弟とともに転居。そのわずか4か月後、中学3年生だった平田さんは、広島市北部にある可部町での勤労働員の作業中に被爆。



広島原爆

撮影/米軍 所蔵/米国国立公文書館 提供/広島平和記念資料館



かつらしげゆき
桂茂之さんの体験
1930年（昭和5年）生／2017年逝去

当時、長崎中学校3年生だった桂さんは、学校で製造した部品を大八車に乗せて、同級生4人1組で三菱造船所に運ぶ途中、長崎駅付近で被爆。



長崎原爆

撮影者不詳・長崎原爆資料館所蔵



にへいはるよ
二瓶治代さんの体験
1936年（昭和11年）生

8歳のときに東京大空襲に遭い、亀戸で被災。家族とはぐれて炎の中を逃げまどい、折り重なる死体の下で一命を取り留める。奇跡的に家族と再会するも、前日まで遊んでいた多くの友人が犠牲に。



東京大空襲

浅草の仲見世あたり（1945年3月19日撮影）
提供：東京大空襲・戦災資料センター

▶ 体験者の体験・思いはそのままに、伝承者それぞれが独自の感性・言葉で約35分間にまとめ、語る「伝承者講話」は、市内各所で聴講いただけます

開催日時	会場	講話内容＜各回の伝承者は異なります＞		
6月21日(土)	F S Xホール (くにたち市民芸術小ホール)	10時：東京大空襲	11時：広島原爆	—
7月24日(木)	矢川プラス	14時：長崎原爆	15時：東京大空襲	—
8月3日(日)	国立駅前くにたち・ こくぶんじ市民プラザ	14時：広島原爆	15時：長崎原爆	—
8月15日(金)	国立駅前くにたち・ こくぶんじ市民プラザ	13時半：東京大空襲	14時半：広島原爆	15時半：長崎原爆
8月22日(金)	矢川プラス	14時：広島原爆	15時：東京大空襲	—
令和8年 1月17日(土)	市内施設	14時：長崎原爆	15時：広島原爆	—
令和8年 3月7日(土)	市内施設	14時：東京大空襲	15時：長崎原爆	—

※開催内容は、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

202410版

【申し込み・問い合わせ先】 *派遣講話のお申し込みも受付中！

国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係

電話：042-576-2111（内線229・256）

ファクス：042-576-0264 / メール：sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp

▼ 国立市ホームページのQRコード ▼

